

凡例

- : 質問
- : NECの回答
- 3Q: 10-12月期
- 4Q: 1-3月期

質問者A

- 07年度3Q(2007年10-12月期)の営業利益は160億円でしたが、これは社内計画と比べてどうでしたか。
 - 3Qの営業利益160億円は社内計画を若干下回りました。主な原因はIT/ネットワークソリューションのうちネットワークシステムの売上で3Qから4Qにずれたものがあったことです。その他はほぼ想定線でした。
- IT/ネットワークソリューションの通期の計画を見ると、営業利益が4Qに偏っていますが、この達成上のリスクファクターをあげるとすれば何ですか。
 - 4Qに偏重している分野にITサービス/SI、ネットワークシステム、社会インフラ、ITプラットフォームがありますが、ITサービス/SIやネットワークシステムは受注が積みあがってきています。あえて言えばITプラットフォームと社会インフラで若干リスクがあると考えています。

質問者B

- モバイル/パーソナルソリューションはこの直近3カ月の実績で黒字になりましたが、高い利益率ではありません。パソコン市況は良かったようですが、何か理由はありますか。
 - モバイル/パーソナルソリューションのうち、パーソナルソリューションについては、パソコンの出荷台数が06年度3Qと比較して横ばいで、減益となりました。12月に、PCによる新しいデジタルライフを提案するホームサーバ「Lui」を発表しましたが、これに関する開発費を計上したことが減益要因のひとつとなっています。
- ホームサーバの開発費は今後も出るのでしょうか。
 - 12月にコンセプトなどを発表する段階まできており、今後もこの開発費が大きく出るということはありません。
- 年間の利益計画から4月-12月の累計実績を差引くと、4Qのモバイル/パーソナルソリューションの損益計画は赤字になるように見えますが、実際に赤字に転じるような要因が見込まれますか。
 - 通期の利益計画を据え置いているため、計算上は、4Qは約40億円の損失となりますが、そこまでの赤字となるとは考えていません。モバイル/パーソナルソリューションは黒字化定着を目指して事業遂行しています。このうちモバイルターミナルについては、この春に出す新製品の機種数が多いので、そのための開発費増が4Qに影響します。

- 「その他」セグメントの損益が3Qに改善しているのはなぜですか。
 - 本社費用などの計上が、4Qに偏重しているため、3Qは前年同期に比べ増益となりました。
- IT/ネットワークソリューションでは、3Qが前年同期比大幅減益ですが、4Qには大幅増益となる計画です。大きな変化の要因は何ですか。
 - IT/ネットワークソリューションの中で、ネットワークシステムの収益性が改善してきます。無線通信システム「パソリンク」は3Qの売上が前年同期比6割程度の伸長となりましたが、4Qも好調に推移する見込みです。ITサービス/SIは、昨年は利益率の高いプロジェクトが3Qに集中していましたので、06年度4Qの利益水準は高くありませんでした。当社のIT/ネットワークソリューションの売上は4Qに集中するという季節性があり、今年度も4Qに大型の案件が集中します。今期はプロジェクトマネジメントを強化しており不採算プロジェクトも減らす見込みであり、4Qの計画は実現可能と考えています。
- エレクトロニクスデバイスセグメントについて、NECTーキンが大幅下方修正となりました。NECは親会社としてNECTーキンの経営に積極的に関与すべきではありませんか。
 - トーキンは、過去には業績が厳しかったため、NECのコンデンサ、リレー事業などを統合して再編した結果、ようやく業績が回復してきていました。NECはNECTーキンの親会社ではありますが、持株比率は50%程度です。またNECTーキンは上場会社ですので、独立した経営をするべきと考えています。NECは、常時事業動向について報告を受けており、事業遂行に関する助言を行なっています。

質問者 C

- セグメントごとの年間営業損益計画に変更はありますか。
 - 将来の成長のための全社戦略投資を「その他」セグメントで計画していましたが、用途が決まったものを、IT/ネットワークソリューションの計画に織り込んでいます。その結果、年間の営業利益はIT/ネットワークソリューションで1590億円、モバイル/パーソナルソリューションで60億円、エレクトロニクスデバイスで30億円の計画です。
- IT/ネットワークソリューションにおいて4Qに計画されている利益額が多いですが、4Qに採算性の良い案件が集中するような特別な理由はありますか。
 - ITサービス/SIは例年4Qに売上が集中しています。またネットワークシステムは通信事業者向け売上が3Qは少ないと予想してはいましたが、目標性を持った計画を立てていました。結果として3Qには実現しませんでした。これは4Qに実現する見込みです。
- 今期計画の営業利益1,300億円が達成できない場合、繰延税金資産への影響はあるのでしょうか。
 - 今期計画に対して、社会インフラ、ITプラットフォームがあえていけば多少厳しく推移すると予想されますが、モバイルターミナルでこれまで計画を上回って推移していることを考慮すると、現時点では1,300億円の営業利益は達成できると見えます。したがって、繰延税金資産への影響はないと考えています。

以上